

大腸内視鏡検査の説明と注意点

大腸内視鏡検査は肛門から盲腸までカメラを入れて主に大腸全体を直接観察する検査です。大腸癌の早期発見と早期治療に有効な検査です。ポリープがありましたら必要に応じて切除します。原則安全な検査ですがまれに腹部の張りや腹痛、少量の肛門出血が発生することはあります。またごくごくまれではありますが腸管穿孔を起こすことがあります。

検査前日までの準備

- 食事制限があります。検査 3 日前から検査前日夜までは、消化の悪い海藻・きのこ・野菜・果物・豆類・ゴマを避けてください。
- 下剤を常用している方は継続して排便を促すようにしてください。
- 検査前日の朝からは検査食 3 食を摂取してください。21 時以降は食事禁止ですがお茶・水の摂取は可能です。

検査当日の準備

- 大腸内視鏡検査を施行するための前処置を開始します。腸内をきれいにするため、当日朝 8 時から洗浄剤を 2 時間かけて飲み、十分な排便が得られたら来院してください。
- 常用薬は通常通り内服してください。抗血栓薬・糖尿病薬などは指示に従ってください。
- 鎮静剤を使用する場合は、ご家族の付き添いが必要で、検査日には検査後も自転車を含め運転することはできません。

検査中・検査後

- 検査室に入室してから退室するまでの所要時間は 30 分から 60 分程度です。
- 内視鏡検査中に腹痛やおなかの張りがある場合があります。
- 体の位置を変えたりすることやお腹を押さえる場合があります。
- 検査終了後は必要により点滴をすることや休んで帰って頂くこともあります。
- 鎮静剤を使用した場合は 2 時間ほど経過観察のため個室日帰り入院になります。
- 鎮静剤を使用した場合は帰宅後も運転は禁止です。

検査費用について

内視鏡検査のみ：約 6,000～9,000 円（3 割負担の場合）

内視鏡検査+ポリープ切除：約 25,000 円（3 割負担の場合）

日帰り入院となった場合：約 4,500 円が追加されます。

大腸内視鏡検査の当日に看護師より再度説明をさせて頂き、同意書を記載して頂きます。既往歴や内服歴や状態によっては当日の検査を中止する場合もありますのでご留意ください。